

専門・認定看護師会 ニュースレター

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や、各領域の専門知識をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを毎月発行しています。

今回の内容についてのお問い合わせ先：川崎市立多摩病院 外来化学療法室

「アピアランスケア」という言葉を聞いたことがありますか？

アピアランスケアの定義は「**医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア**」です。外見の変化を補完する方法として美容的な行為を含みますが、アピアランスケアの目標は必ずしも「治療前と同じ姿に戻る事」ではありません。治療前と全く同じ姿でなくても、周りの人のことが気にならなくなったり、自分らしさを実感できる姿になり“その人らしい生活を送ることができる”ことが目標です。今回は脱毛時のケアの一つ、ウィッグについて自治体による助成制度とともにご紹介します。

がん治療に伴う外見の変化がもたらす自分が自分でいられなくなるつらさ…

外見が変化しても“自分らしく生きる”ための支援 アピアランスケア (Appearance Care)

～ウィッグは自分らしくいるための一つの手段～

Question 1. おしゃれ用と医療用の違いは？

おしゃれ用	医療用
髪のあることが前提 短時間の装着を想定	髪のないことが前提 長時間の着用を想定
地毛に固定できるようなピン デザイン重視	通気性 深くかぶれる サイズ調整可能 耐久性 メンテナンス 復元力 軽さ …など

Answer：「医療用ウィッグ」には明確な基準はなくメーカーごとにゆだねられています。



Point：靴選びと同じように試着が大事！長時間装着を想定して痛みや締め付け、フィット感をみましょう。

Question 2. いくらくらいするの？ 保険はきくの？

お住いの地域の自治体によっては、抗がん剤の副作用で起こる脱毛に対しウィッグ購入費の助成を行っているところがあります。（裏面へ）

Answer：数千円から数十万円と髪の長さや素材によって異なります。現時点では国が定めている保険はまだありません。民間保険の特約で給付されるものもあるようです。

医療用ウィッグ購入助成制度のご紹介 (2020年4月現在)

今回は横浜市の制度をご紹介しますが、助成の内容は自治体ごとに異なります。

一度お住いの自治体にお問い合わせください。

首都圏対象地域

東京都

港区

豊島区

千代田区

神奈川県

横浜市

大和市



<神奈川県>

・横浜市

助成金額＝10,000円を助成します。ただし、購入額が10,000円に満たない場合は、実際に購入した金額とします。(1人につき1回限り)

申請期限＝購入日から1年以内

・大和市

助成金額＝助成金額は、ウィッグ購入費用の9割(1円未満の端数切り捨て)または上限3万円のいずれか低い方の額です。

(1人につき1回限り)

申請期限＝ウィッグを購入した日の翌日から1年以内

がん患者へのウィッグ購入費用助成制度のご案内

(助成対象：購入日から1年以内に申請があったもの)

横浜市では、がん患者の皆さまの就労や社会参加を応援し、療養生活の質がよりよいものになるための購入経費の一部を助成しています。

案内チラシ (PDF: 611KB)
横浜市がん患者ウィッグ購入費用助成要綱 (PDF: 132KB)

助成の対象となる方は、次の項目すべてに該当する方です。

- 申請日時時点で、横浜市に住民票がある方
- 抗がん剤治療等の副作用による脱毛症状に対処するために、ウィッグを購入した方で、現にがん治療を受けている方又は過去にがん治療を受けていた方

○ 助成対象経費

申請手続き

神奈川県 横浜市

申請書
 ウィッグ購入領収書
 治療を証明する書類

※お薬手帳、診療明細書、治療方針計画書など

郵送

★申請書の郵送先(郵送のみ受付)

〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地
 横浜市医療局がん・疾病対策課
 横浜市ウィッグ購入費用助成金受付担当 行

指定した金融機関に振込